

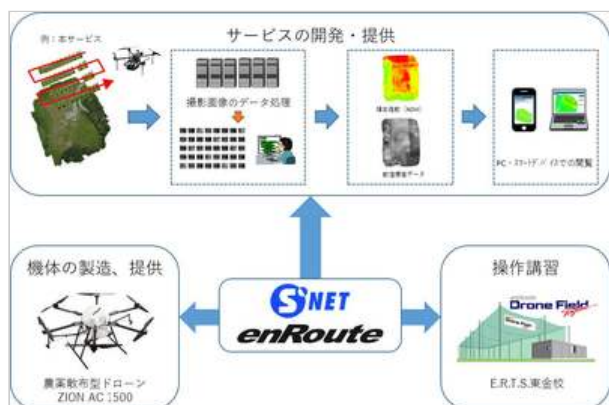
[トップ](#) [ロボットニュース](#) [記事詳細](#)

[ロボット]

[衛星ネットワーク](#)[ドローン](#)[エンルート](#)

衛星ネットワーク、ドローンで農作業支援サービス-育成可視化

(2018/1/25 05:00)



AD



衛星ネットワーク（SNET、東京都港区、松本崇良社長、03・5561・1075）は、飛行ロボット（ドローン）を活用して農作物の育成状況を可視化するサービスを始めた。ドローンが撮影した画像を解析し、植物の育成状況が分かるデータに変換して提供する。利用者は肥料などを効率的に散布できるようになる。個別の見積りに応じる。

新サービスは「SNET画像処理クラウドサービス」。SNETのグループ会社であるエンルート（埼玉県朝霞市）が製造・販売するドローンの利用者向けに展開する。

利用者がドローンを操縦し、上空から撮影した農作物の画像を解析する。SNETがサーバー経由で画像データを預かり、植物の育成状況を示す植生指数データに変換して提供する。利用者はスマートフォンやパソコンなどで、そのデータを確認でき、肥料や農薬を効率的に散布できる。

SNETはスカパーJSATの子会社。

(2018/1/25 05:00)